

SIHD REPORT



池田泉州ホールディングス
ミニディスクロージャー誌

2019.3

03ページ

第4次中期経営計画の進捗

05ページ 店舗戦略

店舗体制の見直しと
お客さま本位の業務運営の追求

07ページ 特集 新たなビジネスモデル

地域の人材不足問題の
課題解決への取り組み

CONTENTS

- 01 ご挨拶
- 03 第4次中期経営計画の進捗
- 05 店舗戦略

- 07 新たなビジネスモデル
- 09 企業価値の向上を支える
ESG課題への取り組み

- 11 株主の皆さまへ
- 13 2018年度の業績
- 14 会社概要

経営理念

『幅広いご縁』と『進取の精神』を大切に、
お客様のニーズに合ったサービスを提供し、
地域の皆様に『愛される』金融グループを目指します。

経営方針

1

人と人とのふれあいを大切にし、
誠実で親しみやすく、お客様から最も
『信頼される』金融グループを創ります。

2

情報収集と時代の先取りに励み、
先進的で高品質なサービスの提供に
よって、地域での存在感が最も高い
金融グループを創ります。

3

健全な財務体質、高い収益力、
経営効率の優位性を持つとともに、
透明性の高い経営を行い、
株主の信頼に応えます。

4

産・学・官のネットワークを活用し、
様々なマッチングを通して、
『地域との共生』を進めます。

5

法令やルールを厳守し、
環境に配慮した企業活動を行うことに
よって、社会からの信頼向上に努めます。

6

グループ行員に、自由闊達に能力を
発揮した能力向上を図れる職場を
提供するとともに、よき市民としての成長を
支援していきます。



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
池田泉州ホールディングスの業績ならびに第4次中期経営計画の進捗について、お知らせいたします。
地域金融機関を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあります。弊社は、昨年、策定しました第4次中期経営計画の下、聖域なきコスト削減を推進し、収益構造の見直しに着手した結果、地域のお客さまとの取引から得られる収益(本業利益)は、黒字に転換、池田泉州ホールディングスの当期純利益も初年度の計画を上回る61億円で着地することができました。
一方で、先々の国内外の景況に不透明

感が増す中、なお残る有価証券含み損の処理、持続的かつ安定的な収益を上げうる経費構造の見直しなど、早期に解決しなければならない課題も顕在化してまいりました。
私どもとしましては、大阪・関西万博の開催が決まり、これから地域が大きく変貌する重大な局面で、地域のお役に立ち続けるためには、早期に弊社の課題を克服し、より一層の体質強化を進めていく必要があると考え、第4次中期経営計画を大きく拡大・前倒しして取り組むこととしました。
具体的には、当初3カ年で処理する予定であった有価証券の含み損を1年で処理、純投資部門の含み損益はプラス

に転じることとなりました。
また、店舗体制の見直しに関しても、一時的な店舗改革コストを計上しつつも、より抜本的な見直しへと大きく舵を切りました。
役職員一同、今後とも環境変化に迅速に対応しつつ、構造改革に果敢に取り組み、更なる飛躍に向けて、研鑽努力してまいりますので、株主の皆さまには、何卒ご理解を賜るとともに、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年6月
取締役社長CEO

鵜川 淳

第4次中期経営計画の進捗

私どもは、第4次中期経営計画を「将来に向けた体質強化期間」と位置づけ、この計画期間で、収益構造の大きな見直しに着手いたします。将来に向けて、“本業利益”を核とした収益構造への転換を図り、将来も地域で選ばれる銀行を目指してまいります。

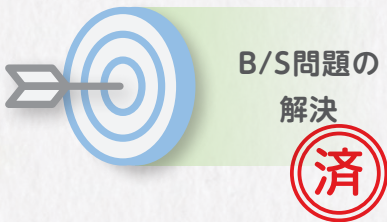
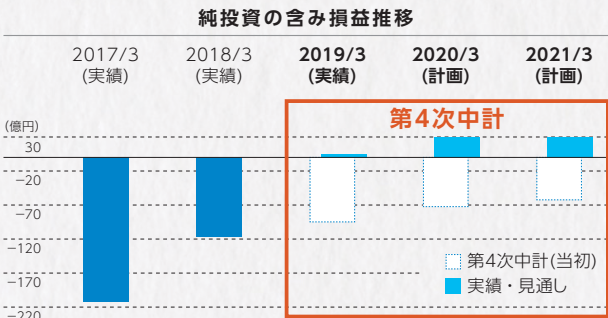
課題解決に向けた「3本の矢」

第1の矢 有価証券含み損の抜本的な処理

○ 純投資の含み損益は、前期末比+122億円

→ 2018年度実績

- 外債処理は、前倒しで中計目標以上を達成、含み損益はプラスに（B/S問題に決着）
- 有価証券投資を抑制し、地域のお客さまとの取引（本業）を強化



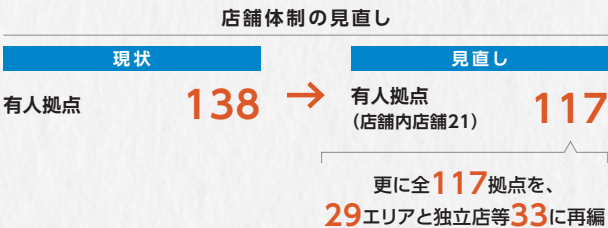
第2の矢 店舗体制の見直しとお客さま本位の業務運営の追求

○ 更に踏み込んだ店舗体制へ見直し

○ 営業店事務の本部集中拡大

→ 2019年度の取組み

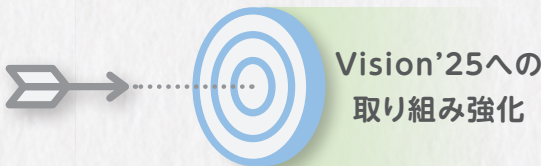
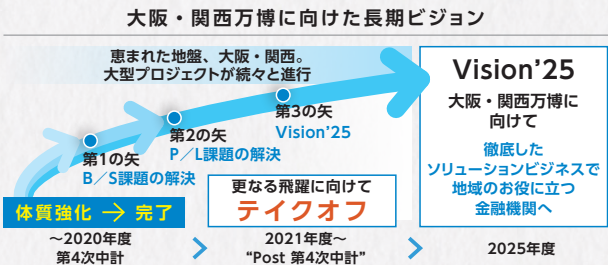
- 営業人員確保により、顧客サービスを維持しつつ店舗コストを削減



第3の矢 徹底したソリューションでビジネスで地域のお役に立つ金融機関へ

→ 2025年に向けて

- Vision'25
— 2025年大阪・関西飛躍の年に向け、当行の取組みを整理の上、実行
- 万博ベンチャーファンドの創設（予定）



重点施策の初年度の進捗と今後の方向性のポイント

- ▶ 事務効率化による人員減、物件費削減により
本業利益は黒字回復
(計画を大きく超過)
- ▶ 体質強化コストは
政策株売却で前倒し処理

- ▶ 将来に向けた体質強化を
確実なものとするため、今年度は利益水準・配当水準を抑制し、**構造改革処理を更に推進**。
次年度からテイクオフへ

(億円)	2017	2018	2019	2020	Post 第4次中計
HD当期純利益					
当初計画		60	66	70以上	
実績(予想)	83	61	(40)	(57)	(80程度)
BK本業利益					
当初計画		9	12	28	
実績(予想)	▲6	39	(26)	(37)	
体質強化コスト					
B/S問題 (有価証券含み損処理)		▲92	▲25	—	—
P/L問題 (店舗改革コスト・与信コスト)		▲19	▲29	▲23	—

店舗体制の見直しとお客さま本位の業務運営の追求



※ エリア制とは

複数の店舗をおく一定のエリアを一つの店舗と見做し、エリア内の店舗に機能を分散・集中（より専門性を高め、サービスを維持・向上）

エリア制の導入

マーケットに応じて、

「**29のエリア**」と「**33の独立店等**」に再編

（2019／7月より順次実施予定）

エリア内の店別の役割を見直し、営業人員捻出により、顧客利便性を維持、質の高い金融サービスを提供へ

エリア制 店舗

統括店
リテールブランチ
パーソナルブランチ

業務内容

エリア内の法人業務を集約
個人特化店
窓口業務特化店（昼休業あり）

地域の人材不足問題の課題解決への取り組み

池田泉州ホールディングスグループでは、「地域との共存共栄」を目指し、地域と社会における課題解決に資する取り組みを進めております。

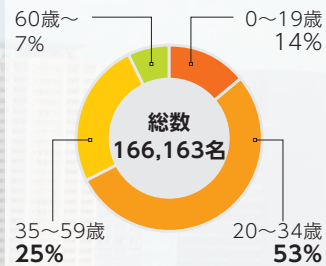
大阪府の人手不足の現状

社会的背景

- 若手人材の転出
- 女性の就業率が全国に比べ低い

大阪府は、転出者の約50%が20～34歳と若手人材の転出が顕著な状況になっています。加えて女性の就業率は66%と全国45位。人手不足が深刻化しています。

大阪府の年齢層別転出の状況



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(平成30年)

大阪府の20-59歳女性の就業率は全国45位

全国平均	68.5%
東京都	70.5%
愛知県	68.9%
大阪府	66.0%

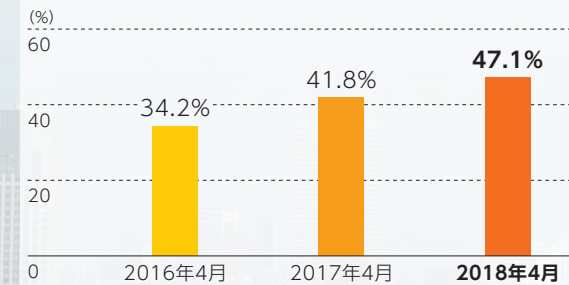
出典：平成29年就業構造基本調査

社会的課題

- 企業の約50%で従業員が不足

左記のような状況もあり、大阪府下の企業の約50%が従業員が不足していると感じています。

従業員が「不足」している企業の割合



出典：帝国データバンク

人材不足の課題解決に向けた取り組み

01

銀行では全国初！

「職業紹介業務」の開始について

- 2018年12月、パーソルキャリア株式会社と協働し、職業紹介業務を開始。
～ 2019年3月末までに800件を超える引き合いあり。



池田泉州銀行



パーソルキャリア

02

外国人材ニーズへのサポート強化

地元企業と外国人留学生とのマッチングの場を創出

- 2019年4月、森興産株式会社と協働し、外国人留学生の紹介を開始。
- 外国人材活用セミナー、外国人留学生合同企業説明会を開催。



外国人留学生合同企業説明会



池田泉州銀行



森興産株式会社
MORI KOSAN CO.,Ltd

03

求人応募率、従業員様の定着率アップのために

池田泉州銀行「前給」サービスをぜひご活用ください！

- 2019年1月、株式会社きらぼし銀行と連携し、「前給」サービスの提供を開始。
～ 「前給」サービスは、事業会社の従業員の皆さまが働いた範囲で給料日前にお金を受け取ることができるサービスです。

これからも地域と社会のために

池田泉州ホールディングスでは、グループをあげて地元企業のさまざまな人材ニーズに対して総合的なサポートを行ってまいります。

企業価値の向上を支える ESG 課題への取り組み

池田泉州ホールディングスグループでは、ESG（環境・社会・ガバナンス）課題への取り組みを通じて、持続可能な地域社会の形成に取り組んでまいります。



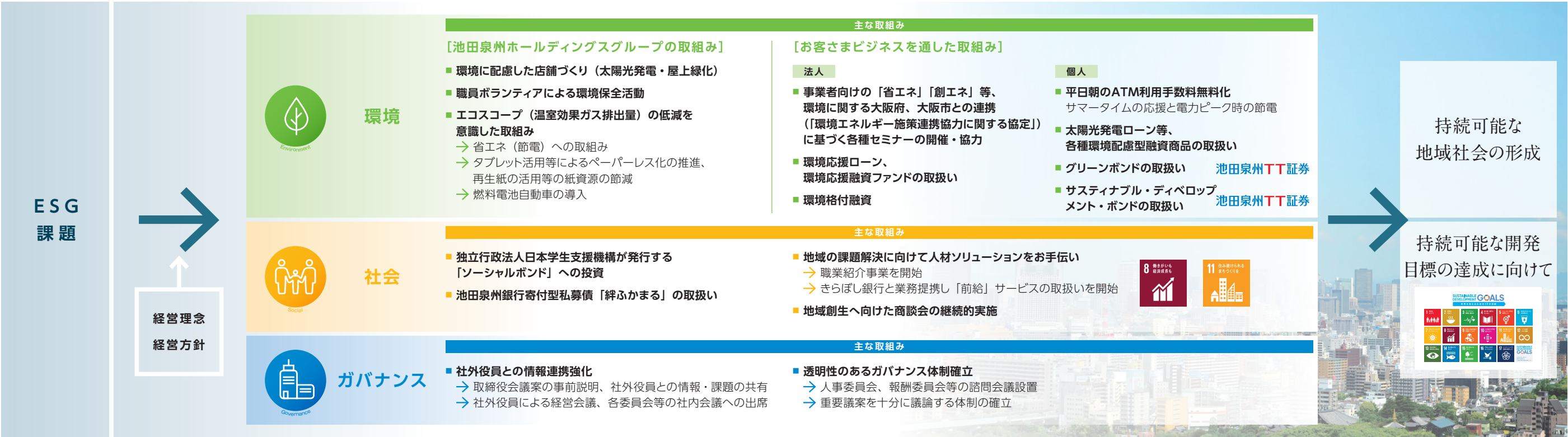
経営理念と経営方針に基づき、
ESG 課題に取り組むことで、
地域への弛まぬ貢献を続けてまいります。

池田泉州ホールディングスの考えるESG

私どもは、地域の持続的な成長があって初めて当社グループも成長できるとの考えの下、地域社会のESG課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

池田泉州ホールディングスのESG活動

目指す姿



株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社への理解を深めていただくとともに、皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主懇談会

池田泉州ホールディングスでは、株主の皆さまとの対話の場として、弊社からの近況のご報告、外部講師による講演、株主の皆さまとの懇話会からなる株主懇談会を開催しております。



株主懇談会で寄せられた株主さまの お声

- ・頑張って株価を上げてもらいたい。
- ・配当継続をお願いしたい。
- ・株主優待定期の金利引き下げは残念／優待品は地場のいいものを揃えており継続してほしい。
- ・低金利の中、企業への融資よりも自社株買いの方がよいのでは。
- ・合併はしないのか。
- ・営業人員を増やすだけでなく、しっかりした教育を。
- ・大阪万博を収益に繋げてほしい。
- ・コスト削減で顧客にしわ寄せせず、IT化で進めてほしい。
- ・取引量に応じてサービスの無料化を。 など

株主懇談会では、株主の皆さまから100件以上のご意見・ご要望をいただきました。その中で、特に多かったご意見をご紹介します。

株主の皆さまのご意見・ご要望は、経営に役立てていきたいと考えております。これからもご意見・ご要望があれば、ぜひお寄せください。

個人投資家向け会社説明会

池田泉州ホールディングスでは、地元の投資家の皆さまに、当社の経営戦略やビジネスモデル、業績などをよく知ってもらい、ファンになっていただくことを目的に、さまざまな形で個人投資家向け会社説明会を開催いたします。



株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意しております。地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフトの中から選びいただけます。

とっておきの地域特産品等をラインナップ！



保有株数	保有期間	優待内容				
10,000株以上	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	10,000円相当	および	株主優待定期預金 (0.1%の金利アップ クーポン)	
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当			
6,000株以上 10,000株未満	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当	いずれかを選択		
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当			
2,000株以上 6,000株未満	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当			
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	2,000円相当			
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金（0.1%の金利アップクーポン）				

▶3年以上継続保有の確認は、直近の3月31日を基準として遡り、毎年3月31日及び9月30日の当社の株主名簿に同一株主番号で連続して7回記載または記録されていることをもって判定いたします。

配当政策

池田泉州ホールディングスは、体質強化を前倒しかつ拡大して達成するため、利益水準及び配当水準の見直しを行いました。本業による収益力を強化し、早期の株主還元向上を目指してまいります。

配当方針見直し

1株あたりの配当を年間15円配当から年間7.5円配当に見直し

- 第4次中計期間では、将来に向けた店舗改革コストや与信コストの予防的積み増し等の体質強化を優先。
- 本業による収益力を強化することで早期の株主還元向上を目指す
～増配だけでなく1株あたりの利益向上を図るための自社株買いも併せて検討

	2018年度	2019年度（予想）	・・・	"Post 第4次中計"
HD当期純利益	61億円	40億円		80億円程度
1株あたり配当	15円	7.5円		7.5円以上
株主還元率 （優先配当控除後）	86.6%	64.9%		30%以上

2018年度の業績

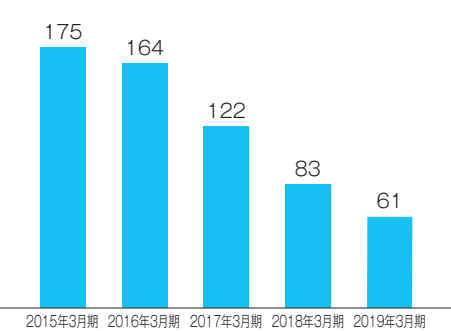
業績ハイライト

池田泉州ホールディングスグループ

親会社株主に帰属する

当期純利益 (持株会社連結)

61億円 (前年同期比)
-22億円

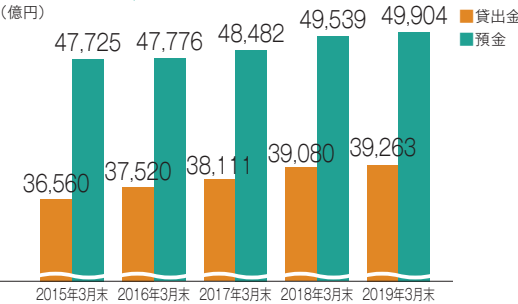


池田泉州銀行 貸出金残高

3兆9,263億円 (前年同期比)
+183億円

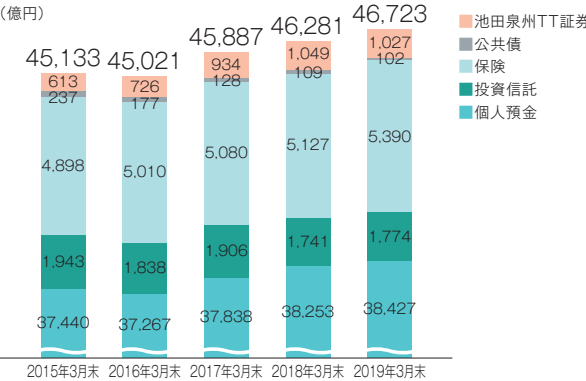
預金残高

4兆9,904億円 (前年同期比)
+365億円



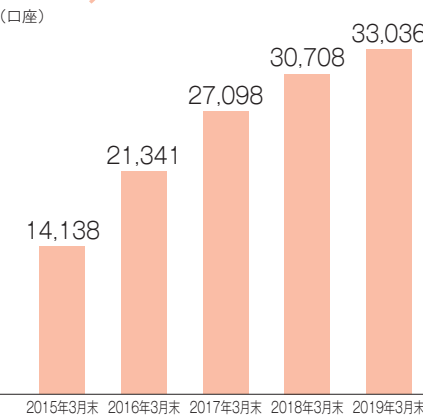
個人総預り資産残高 (銀行単体+証券子会社)

4兆6,723億円 (前年同期比)
+442億円



池田泉州TT証券 証券口座数

33,036口座 (前年同期比)
+2,328口座



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
公告掲載方法	電子公告により行います。 ■公告掲載URL http://www.senshuikeda-hd.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告を行うことができない場合は、産業 経済新聞に掲載して行います。)
単元株式数	100株

株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777
上場証券取引所	東京証券取引所

各種お手続きについて、詳しくは三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご照会ください。
▶ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

会社概要

Profile (2019年3月末日現在)

■ 池田泉州ホールディングス

設立日 2009年10月1日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 1,029億円
従業員数 109名
上場取引所 東京証券取引所

■ 池田泉州銀行

設立日 1951年9月1日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 613億円
預金 4兆9,904億円
貸出金 3兆9,263億円
店舗数 142カ店
従業員数 2,498名
格付 日本格付研究所 A-

■ 池田泉州TT証券

設立日 2013年1月30日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 12億5,000万円
預り資産残高 1,197億円
店舗数 4カ店
従業員数 118名

<池田泉州ホールディングス 取締役・監査役> (2019年6月25日現在)

代表取締役会長 太田 享之
代表取締役社長兼CEO 鵜川 淳
取締役 前野 博生
取締役 細見 恭樹

取締役 井上 慎治
取締役 平井 博将
取締役(社外) 古川 実
取締役(社外) 小山 孝男
取締役(社外) 山澤 俱和

監査役(常勤) 青柳 茂
監査役(常勤) 川上 晋
監査役(社外) 佐々木 敏昭
監査役(社外) 森信 静治
監査役(社外) 中西 孝平

「百舌鳥・古市古墳群」は、イコモス登録勧告を受け、世界遺産登録へ前進。

また、「大阪・関西万博」の開催が決定いたしました。

大阪初の世界遺産登録へ！

百舌鳥・古市古墳群

2019

池田泉州ホールディングスグループは
世界文化遺産登録を応援しました。

＼古墳PR動画をホームページへ掲載／

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録を応援するためのPR動画を池田泉州銀行HPに掲載。
(動画再生1回につき1円寄付)



＼「百舌鳥古墳群」を巡るツアー開催／

関連会社の自然総研主催で、堺の古代文化遺産「百舌鳥古墳群」を堺観光ボランティアガイドのご案内で巡るツアーを開催。



2025



いのち輝く未来社会のデザイン
～大阪・関西万博開催決定！～

池田泉州ホールディングスグループでは、2025日本万国博覧会誘致委員会「オフィシャルパートナー」として、万博誘致を応援しました。

